

日本大学三島高等学校

# 同窓会会報

第 28 号

平成 11 年 3 月 1 日  
静岡県三島市文教町 2  
日大三島高校同窓会 発行



## 御 挨 捭

会長 高田 菊平

会員の皆様におかれましてはお元気にご活躍のことと思います。ご承知の通り平成10年度の経済状態は大変厳しい年がありました。同窓会々員の皆様におかれましても、その厳しい景気の状況に直面し、厳しい現実に戦う毎のことだろうと思います。今までに直面したことのない金融不安からくるいろいろの難問がまさしく我々の日々の生活の段階まで波及して來た一年であったと思います。

しかし、今年は兎年であります。この変化の激しい時代をスピードを上げて目標をクリアすべく飛躍していきたいものであります。今こそ前向きな姿勢、考えと行動が必要であると思います。厳しいと嘆いていても何の解決にもなりません。むしろこの時こそ変革のチャンスだ、新たな挑戦のチャンスだと捉えて前進したいものです。

平成10年度の同窓会の活動をふりかえってみると、それぞれの地域で新しい芽が育ちつつあると感じました。

特に静岡支部の活動や御殿場支部の活動が目立ってその動きがみられ、若い会員も一緒になって活動している様は、まさに今後の同窓会の活動を勇気づけるものとなっていると思います。

今、母校が同窓会員のメンバーの約2万名に、母校の案内を発送していますが、その中に同窓会会報も同封させていただいておりますから、さらに、同窓会に対する認識を深めることができますようになると期待しています。それが各地域の支部活動に大いに役立ってくれるものと考えています。

今後ますます母校との連携が重要になってくると思いますし、又そうすることによって母校の発展の為に少しでも役立つことが出来るものと思います。同窓生にとって母校が発展していくことが、又なによりの喜びであるわけです。

会員の皆様方におきましても又、時には母校を訪ねていかれることをお勧めいたします。

最後に皆様方のご多幸とご健勝をそして同窓会活動に対しましてご支援とご協力を今後共よろしくお願ひ申し上げましてご挨拶といたします。〈平成11年1月23日〉

第1期生・ニューデルタ工業株式会社社長

(三島市梅名)



絆  
*For the World  
of Tomorrow*





## 少子化時代を迎えて

校長 山内昭二

平成10年度の卒業生916名が  
同窓会に入会いたします。第39

期生です。同窓生の皆さん、今後共、よろしくご指導下さるようお願い致します。今迄毎年1000名を越える卒業生でしたが、今年から少子化の影響で学年の人数が年々少なくなります。もう二度と1000名を越えることはありません。子供達の人数がどのように変化して行くのかについては、厚生省の統計があります。それによりますと、平成元年生れの子供が124万人で、以後、多少の増減はありますが、120万人前後で、ほぼ20年間安定するようです。今年の卒業生は全国で157万人ですから、9年後までに30万人が減少することになります。静岡県も例外ではありません。今年の卒業生の年代の子供は47,000人、10年後には37,000人になります。10年で1万人少なくな

ります。300名定員の学校が33校いらなくなります。東部でも3,000名が減少することがわかっています。丁度10校分です。各校が定員を4分の1ずつ減らさなければなりませんが、小さな学校では学校として運営出来ない事態になり、廃校、統合、中高一貫等さまざまな取り組みが行われると思います。本校も同じです。120万人体制の中で、どんな高等学校として、生き残り、発展させるのか、今先生方と話し合っています。私は21世紀に生きる若者を育て、地域の発展に寄与する人材を育てる学校として、時代に適合した新しい校舎のもとで、校訓「自由と規律」にもとづいた教育を推進して行きたいと考えております。同窓生の皆様には、母校のために今後共、暖いご支援・ご協力をお願い致します。

## 新入会員を迎える



風岡 正頼 (11期)

第39期卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。同時に、同窓会への入会を心より歓迎いたします。

皆さんは三年前、校庭の桜の花が咲き誇る日に、希望と不安を胸に高校門をくぐったことを覚えていますか。その時から、早くも三年の月日が流れ去ろうとしています。人は、時の流れと同じで一日一日、刻一刻と変わって行きます。この三年間は、人生の中で一番大切な時期であり、精神的に大きく成長を遂げるものです。この大規模校の中で、わずか40名前後という学級において、部活動において自然とそれがなされて来たはずです。それは友情であり、今後は皆さん各自の道を歩く上で同窓生という潜在意識に変わって行くと思います。何処で誰とどのように係わって行くか分かりませんが、些細なことから同窓生は身近に大勢いることが分かります。顔は知らないても「同窓生」と言うだけで親近感を感じる機会があると思います。この、日大三島の出身であることに自信をもって歩いてください。

## —各支部長一覧—

支部名	三島	田方	沼津	御殿場	富士	富士宮	静岡	熱海	小田原
氏名	永井嘉大	山田守宏	今井信之	武藤康徳	西村雅幸	秋山一雅	杉山智彦	谷口俊司	川口功一
住所	駿東郡長泉町納米里一〇四一三	田方郡大仁町立花三一二三二	沼津市市場町一〇一一	御殿場市二枚橋五一四一四	富士市横割六一二一五	富士宮市浅間町四一一五	静岡市西千代田町一一三一	熱海市上多賀九二〇一	小田原市東町四一五一〇
T E L	(〇五五九)八七一七三七〇	(〇五五八)七六一五〇〇二	(〇五五九)三一一七八七八	(〇五五〇)八三一〇四二二	(〇五四五)六一一五一七五	(〇五四四)二六一三八四七	(〇五四四)二四七一六三九五	(〇五五七)六八一四〇二二	(〇四五六)三四一三五三七

## 平成10年度 事業報告

- 1 総会 10月24日 田代パレス  
 (1)会長挨拶 (2)母校校長挨拶  
 (3)議事 (事業報告・決算報告・事業計画・予算案・終身会費値上げ案) (4)懇親会
- 2 幹事会  
 (1)9月24日 田代パレス 総会について  
 (2)2月4日 田代パレス 入会式準備  
 会報発行・表彰・住所不明者追跡調査について
- 3 事業  
 (1)2月20日 第39期生入会式 母校8号館  
 表彰 (奨学金) 川村 藍・飯田 恭宏  
 (奨励金) 古屋 周一 (写真部)  
 全国学芸科学コンクール・写真部門 金賞  
 記念講演  
 「ぼくの不思議の国ニッポン」  
 講師 デーブ・スペクター 氏  
 (放送プロデューサー)

- (2)3月1日 同窓会会報第28号発行  
 4 支部  
 (1)静岡支部 2月21日 日興会館  
 (2)熱海支部 3月10日 热海つるやホテル  
 (3)御殿場支部 4月26日 ホテル御殿場館  
 (4)静岡支部 5月20日 日興会館  
 6月5日 三役会 静岡ブルワリー  
 7月17日 ピアガーデン例会  
 8月19日 三役会 串幸  
 9月18日 静岡・清水合同打合せ会  
 10月16日 幹事会 静岡第一ホテル  
 11月13日 ボウリング大会  
 その他、紙面の都合で割愛します  
 (5)三島支部 6月26日 田代パレス  
 (6)清水支部 9月18日 ホテルサンルート清水  
 (7)田方支部 11月28日 田京 源氏
- 5 その他  
 忘年会 12月7日 高田屋  
 桜樹会(熱海市役所) 6月27日  
 (家族親睦旅行・横浜・浅草)

## 入会の言葉



### 後輩たちの力に

39期生代表 八木 正樹

三本目のネクタイとも別れ、私達平成10年度卒業生916名は、第39期日大三島高校同窓生として、皆様のお仲間に入れて頂く事になりました。どうぞ宜しくお願ひ致します。

平成7年、私達は日大三島高校に入学すると間もなく、金メダリストの岩崎恭子先輩を再びアトランタオリンピックにお送りするという晴れがましい喜びを共にする事ができました。修学旅行では阿蘇の司ホテルで日大OBの社長様に歓迎して頂き、旅行中で最も寛いだひとときを過ごす事ができました。

在学中にお世話になりました先輩方の他にも、ご立派にご活躍の同窓生を大勢持つ事ができました事を幸せに思います。これからは、私達も日大三島高校の同窓生として後輩の力になれる存在になりたいと思います。ご指導のほどをよろしくお願ひいたします。

## お願い

様々な形での同窓会をひらいた時には、母校同窓会事務局までお知らせください。  
紙面にて紹介したいと思います。

## クラス幹事

1組	上野 悟史	12組	小林 佑一
2組	吉川 友史	13組	大高 良彦
3組	芹田 知隆	14組	椎名 崇人
4組	増島 陽平	15組	梅原 和貴
5組	勝又 紘美	16組	望月 辰起
6組	白井 宏明	17組	根津 勝志
7組	小森 由起枝	18組	石川 亮
8組	松田 貴子	19組	戎谷 和久
9組	一見 昌寛	20組	八木 正樹
10組	酒井 真一郎	21組	杉原 裕宣
11組	栗原 大輔	22組	多田 幸弘

以上の人たちが各クラス幹事として選ばれました。いつの日か、クラス会をひらく時には上記の幹事を中心としてよき会をつくり上げてください。

## 同窓会総会

平成10年10月24日（土）  
於：田代パレス

平成10年度の総会は、10月24日、例年のごとく田代パレスで開かれた。平成9年度の事業と決算の報告、10年度の事業計画案・予算案が承認された。また同窓会の会費を1万円とすることも同時に承認された。これは母校50周年に向けての財源ともなるもので、現実的には基金による運営が困難になってきていることもある。懇親会も「三遊亭春馬のお囃子教室」を招いてにぎやかにおこなわれた。



## 幹事会

平成10年9月24日  
平成11年2月4日

9月24日には総会を開くための審議、2月4日は、入会式その他の審議がおこなわれた。この幹事会を中心として各種行事が承認され実行に移されていく。その他の議事内容は3ページを参照。



## 同窓会入会式 平成11年2月20日（土）

### 一式次第一

- 同窓会会长挨拶
- 母校校長挨拶
- 新入会員代表挨拶
- 出席役員・幹事紹介
- 卒業記念品贈呈
- 表彰・奨学金授与



高田会長挨拶

### 一記念講演

講師

デーブ・スペクター氏  
(放送プロデューサー)

テーマ

「ぼくの不思議の国  
ニッポン」





**篠原七月男先生  
定年によって退職される**

教頭の職にあられた篠原七月男先生は、平成10年6月30日付をもって定年退職されました。先生の新たな人生が幸多いものであることを、同窓生一同心よりお祈りいたします。



**新教頭に北島肇先生**

篠原七月男先生がめでたく定年退職されたのにともない、新教頭に、北島肇先生(国語科)が平成10年7月1日付をもって就任されました。先生の大いなるご活躍を同窓生一同心よりお祈りいたします。



**畠中淳先生  
定年によって退職される**

畠中淳先生は、平成10年度12月5日付をもってめでたく定年退職されました。先生は昭和41年4月、母校の国語科に赴任されました。以来32年間お元気に母校発展のため力を尽くされました。

先生のさらなるご活躍を心よりお祈りいたします。

**川村藍さん・飯田恭宏君に奨学金  
古屋周一君(写真部)に奨励金がおくられる**

同窓会は表彰規定にもとづき、川村藍さんと飯田恭宏君に奨学金（5万円ずつ）をおくります。この奨学金は母校在学中、学業成績・人物・自治活動・健康に優れ、有為な人物として校長より推薦された人におくられます。また、全国学芸科学コンクール写真部門において金賞を受賞した古屋周一君には奨励金（5万円）がおくられます。この奨励金は、顕著な業績をあげ更に一層の充実・発展が期待される人物及び団体におくられます。皆様のさらなる活躍を期待します。



左から 飯田君、川村さん、古屋君

**支部だより**

**熱海支部**

支部長 谷口 俊司（2期）

熱海支部では、平成10年3月10日、熱海つるやホテルで支部総会をひらきました。高田菊平会長にも出席していただき、約50名ほどの盛大な会とすることができます。集まった仲間のそれぞれの近況報告を通して、それぞれの胸の内に絆を感じたひと時でした。熱海という地は皆様もご存じの通り、海に面した温暖な所です。こうした風土の中に育った友人達の心もおのずと明るく穏やかなものがあります。そうした心の集まりを大切にして熱海支部を皆で育てていこうと願っています。会の終りには全員で日大節を歌いました。他の支部の方々の参加も大歓迎です。またの機会にはぜひ皆様も熱海にお出かけください。お待ちしています。



**三島支部**

支部長 永井 嘉大

支部長2年目の私にとって、平成10年度は何かと忙しい年であった。6月の総会の準備会を3回開催し、1人でも多くの参加を願う役員の方々の気持ちが通じ、6月26日(金)、田代パレスにおいて盛大のうちに終了した。

11月20日(金)には支部役員忘年会を開催した。副支部長の大村雅彦君の市長選立候補表明とも重なり、同窓会ならびに支部としても全面的に支援する事になった。善戦むなしく今一歩の結果であったが、1年後の21世紀を目指して支部活動のさらなる発展に向け始動。1月22日(金)役員15名の参加のもとに市内「摩天楼酒家」において新年会を開催、11年度に向けての抱負を語りあった。



**同窓会顧問  
薬袋邦明先生  
ご逝去**

平成10年9月10日、母校第5代校長、同窓会顧問であられた薬袋邦明先生がご逝去されました。

先生は昭和38年4月1日に母校に赴任されました。以来、理科の教師として教鞭をとりながら、2科(理系)主任をながく務められました。そして、昭和52年11月に教頭、平成3年9月よりは校長職に就かれ、母校発展のため尽力されました。平成5年3月31日付をもって定年退職されました。

先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



**同窓会顧問  
北岡功先生  
ご逝去**

平成10年10月7日、母校第4代校長、同窓会顧問であられた北岡功先生がご逝去されました。先生は昭和36年4月1日に母校に赴任されました。以来、社会科の教師として教鞭をとりながら、生活指導主任・野球部長・1科(文系)主任などの要職をこなされ、昭和55年4月、第4代校長に就任されました。そして、平成3年8月31日付定年退職をされました。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



**田方支部**

支部長 山田守宏(3期)

田方支部においては、平成10年11月28日、田京にある源氏において支部会をひらきました。各地区の代表者をはじめとして22名ほどが集まりました。いつものメンバーに新たな人も参加してくださり、楽しく意義のあるひと時を過ごすことができたと思います。会の友人達の近況を聞きつつ、この厳しい社会情勢の中にあってよく活躍されているなど実感いたしました。前号にも書きましたが、田方という地域は大変に広く細長く、日常的には同窓生といえども顔を合わせることがなかなかできません。そこで今後は、函南から湯ヶ島までの各地区を中心とした「地区会」にしていこうということになりました。なお、私も昭和62年より支部長の任にあり、来年度には新支部長を誕生させるべく話がすすんでおります。また報告いたしますのでよろしくお願ひいたします。



平成10年  
11月28日  
源氏にて



**岩崎恭子さん**

アトランタオリンピック出場記念モニュメントをのこす(平成10年3月20日)

高校門をくぐった正面の所に、上記のモニュメントを岩崎恭子さんが建ててくれました。写真の左の方が制作者の山本敏氏(金作家)です。モニュメントには「夢」の文字が刻まれています。

**テニス部男子全国大会へ**

全国選抜高等学校テニス選手権大会への出場決定。この栄光は11年連続11回目のものである。

**第38期・第39期生の卒業記念品**

昨年卒業した38期は、母校グランド西側に防災倉庫を残した。また、今年卒業する39期生は、グラウンド放送設備一式を母校に残す。後輩達の学力向上と活躍を期待するものである。



本間元章先生(数学科)は、平成10年4月より日大明誠高校へ転勤されました。また、伊倉佐和子先生(国語科)は、平成10年3月ご結婚のため退職されました。